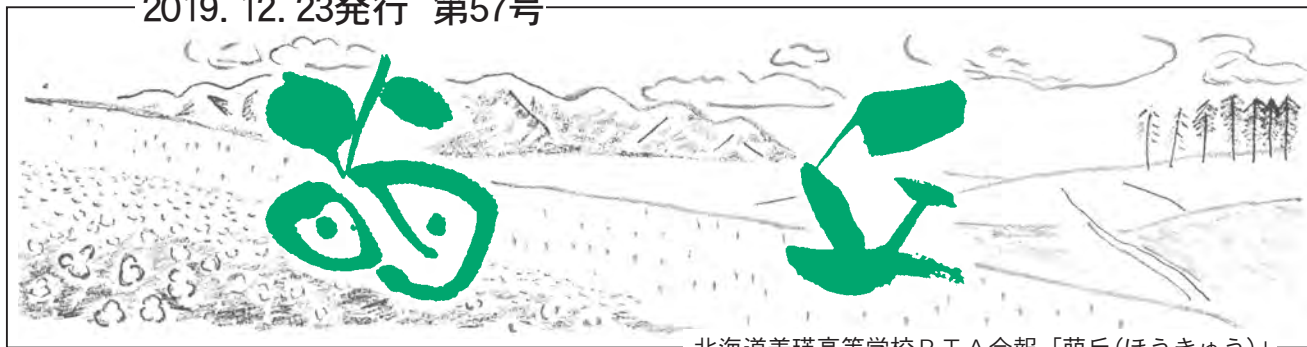




北海道美瑛高等学校PTA会報「萌丘(ほうきゅう)」
事務局 TEL 92-1054



二学期を終えて

PTA会長 田野中 智昭

美瑛高校PTA会員の皆様には、日頃よりPTA活動にご参加、ご協力いただき心から感謝申し上げます。一学期の終わりに行われた学校祭では、天候にも恵まれ学校祭一日目は生徒の行灯行列、恒例の役場駐車場でのパフォーマンスでは、各学年各クラスが練習の成果を出し切り、見に来ていただいた多くの人に楽しんでいただく事が出来たと感じています。またPTAの父母の方々のお手伝いをいただき夕食のカレーライス作り、行灯行列の際には交通整理にもご協力いただきました。学校にもどり、グラウンドからの打上花火は美瑛高校に関わる皆様にご協力いただき盛大に行われ、生徒の皆さんも見入っていました。二日目は一般公開が行われ、生徒達は模擬店や体育館での発表などを行い、沢山の方に学校に来ていただき、とても良い学校祭となりました。PTAとしては食堂、くじコーナーや焼き鳥とご協力

いただきました父母の方々に感謝申し上げ、来年度も皆さんの参加を期待しております。

二学期は、美瑛高校の特色である一年生のインターンシップで町内の企業や自衛隊等に協力いただき、早期の職業体験を今後の進路選択に活かし、進路の参考にしてきたと思います。二年生は見学旅行を無事に終えて、最高学年への準備となります。

三年生は進学、就職に向けて最後の高校生活になります。自分の将来に向けて努力した成果が出ることを



折っています。三学期は短い期間となりますが、それぞれの学年で今自分がするべきことを考えながら行動していただきたいと思います。

最後になりますが、PTAではありませんが、美瑛高校のホームページが一新され、学校での行事や生徒の様子が、日々更新されています。

高校時代が人生をつくる

校長 升田重樹

PTA会員の皆様に、今回は私自身のお話を。

昭和五十五年四月、私は高校に入学と同時にラグビー部に入部しました。この年の全国高校ラグビー大会では五年前まで弱小チームだった京都の伏見工業高校ラグビー部が元日本代表選手だった山口良治という先生の指導の下優勝して話題になりました。

山口先生が赴任した当時の伏見工業高校は廊下をオートバイで走る生徒がいるなど今では考えられないような荒廃した学校でした。ラグビー部員も「ツッパリやワル」と言われる生徒の集まりであったとのこと

ます。私も見ながら投票ボックスを押しています。保護者の皆さんや地域の皆さんに見ていただき、美瑛高校の活動を知っていただける事ができていると思つています。今後ともPTA活動に対し指導とご協力をお願いいたします。

す。山口先生はこのラグビー部に飛び込み、最初は生徒たちから反発を受けますが、熱血指導で赴任からわずか5年で全国大会優勝を成し遂げる集団を創り上げました。私はテレビの番組や雑誌でこの事実を知り、凄い先生がいるものだと思ってきました。

高校二年生のある日、本屋で「落ちこぼれ軍団の奇跡」という本を見つけました。この本は山口先生が伏見工業に赴任してから全国大会優勝までを描いたノンフィクション小説です。私は迷わず購入し、まるで漫画を読むようにその日のうちに完読しました。この小

説は後に「スクールウォーズ」というドラマの原作になりました。実話を元にしているの、当時は描かれている人物がすべて実名で登場しています。強豪の花園高校に「一二対〇で負け、俺はくやしい」と倒れこんで泣き崩れた落第生のキャプテン小畑道弘君、京都一のワルと恐れられた弥栄（ヤサカ）の真悟こと山本慎悟君。「ワルや落ちこぼれ」と呼ばれた様々な生徒たちが登場し、ラグビーを通して物語は展開していきます。

私はこの本を読んで益々、山口先生と伏見工業ラグビー部に興味が湧くと同時にラグビーにのめり込んで行きました。そして、気持ちを抑えられなくなった私は自身の修学旅行で京都に滞在した際、一人で伏見工業ラグビー部のグラウンドを訪れ、山口先生に会うことができました。山口先生は北海道の田舎から来た私にやさしく語りかけてくれました。グラウンドには百名を超える部員がいたと思うのですが、一人ひとりの部員へのアドバースが驚くほどの確であり、本の中から山口先生が飛び出してきたようで終始興奮していたのを覚えています。

その後、私も山口先生のように強くなりたいと思いい、関東の大学でラグビーを続け、高校教師という道に進みました。先に上げた本の登場人物の生徒、小畑君は現在、建設会社の社長になっていきます。京都一のワルと恐れられた山本君は大学へと進み、山口先生と同じ公立高校の保健体育教師になっていきます。他の登場生徒たちも皆、責任のある社会人となっています。本のタイトルは「落ちこぼれ軍団の奇跡」ですが、今思うと最初から落ちこぼれ

全道大会の参加報告

PTA副会長 常盤 繭子

の生徒なんていないし、奇跡なんか起こっていないと思います。山口先生との出会いによって生徒たちが目的と目標を持ち、地道に努力した結果です。京都一のワルから高校教師となった山本君は「山口先生と出会っていなかったら人生どうなっていたかわからない」と言っています。

誰にでも出会いというものはありませんが、若い頃の出会いは人生を大きく変える可能性があります。五十五才になった私の十七才の時の思い出です。

六月一日(土)～六月二日(日)の二日間、苫小牧市で北海道高等学校PTA連合大会の胆振・日高大会に、福本副会長と升田校長、荻田教頭の四名で参加して参りました。今回の全道大会は全道各地より二三校、総数が一〇一四名参加という大きな大会で、規模の大きさもさることながら、様々な学校のPTA会員の皆様と交流することが

でき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。一日目は講演会からスタートしました。「可能性を引き出すコミュニケーション



ン」と題し、元日本ハムファイターズ内野守備走塁コーチ兼作戦担当の白井一幸さんのお話をお聞きしました。非常に話の上手な方で、コーチとして活躍されていた頃に心がけておられた「人材を育成するための話術」や「心構え」について、ユーモアを交えてお話しくださり、本当にあっという間の一時間半でした。また、ただ楽しいだけでなく、子どもを持つ親の立場として、未来を担う子どもたちをどのように導いていけば良いかの示唆に富んだ、大変素晴らしい内容でした。その夜の教育懇談会では、地元苫小牧周辺の美味に舌鼓を打ちながら、全道各地の P T A 会員の方々と交流ができました。テーブルがブロックごとになってしまったので同じ地区の会員の皆様とはもちろん、普段は交流できないような全道各地の P T A の方々と様々な情報交換ができました。

二日目は分科会への参加でした。それぞれのテーマに分かれて実施され、あるグループではグループ全体での討議形式で、またあるグループでは「ワールドカフェ形式」(お菓子やお茶などを楽しみながらテーマに基づいてぎくばらんな雰囲気の中で話し合う形式)での研修だったりしました。私の分科会もワールドカフェ形式で行われ、リラックした雰囲気の中、活発な意見交換が行われ、大変勉強になりました。

二日間の大会参加をととして学んだことや得たことを本校 P T A 会員の皆さんに還元し、今後の美瑛高校の P T A 活動充実に役立てていけたらと思います。

2年 見学旅行

一年二組 小野寺深里

見学旅行の四泊五日は長いようで、あっという間に終わってしまいました。この旅行は、色々な人との出会いや関わりの中から新しい発見に出会う貴重なものとなりました。

一日目は移動だけで終わりましたが、飛行機から見た景色はいつも見ている景色とはまったく違い、街の夜景が宇宙の銀河が広がっているように見えました。また、宮島のホテルから見た海は、朝日に照らされて神々しく感じました。や

はり宮島という場所がそう感じさせたのかもしれない。

二日目はフェリーに乗って厳島神社に行きました。残念ながら大鳥居は修復中でしたが、何かが覆われているその様だけでも十分な迫力でした。しかも、この大鳥居は固定されているのではなく、海に置かれているだけというのがビックリでした。これこそ瀬戸内海の地の利をいかすということなのかと感心しました。「プラタモリ」で予習していましたが、実際に見てみると北海道では見ることができない神秘的で荘厳な雰囲気圧迫されました。その後は路面電車で揺られる



がら原爆ドームに行きました。被爆者講話や広島平和記念資料館の観覧を通して、原爆ドームが現代まで保存されている意味の重さを改めて考えました。

三日目は関西自主研修でした。なれない街並みで、なかなか予定通りにいきませんでしたが、たくさん面白い物したり、見たいと思っていたものを見たりして、全部がとても楽しい一日でした。

四日目はユニバーサルスタジオジャパンに行きました。一日ありましたが、その世界に引き込まれて夢から覚めるようにして終わってしまいました。もっとアトラクションや面白い物を楽しみたかったです。

最終日は「なんばグランド花月」で吉本新喜劇や漫



才を見ました。想像以上におもしろく、有名な芸人を見るのができて良かったです。終了後は北海道に帰りました。

見学旅行で多くのことを学びました。その多くをこれから学校生活にいかしたいと思っています。楽しみにしていた見学旅行は終わってしまいましたが、学校生活はまだ続きます。今度は未来に向けて、頭を切り替えて頑張っていきます。

一年二組 栗原 祥伍

見学旅行では、歴史的な建物や都会のマナー、過ごし方など多くのことを学び、発見することができました。

一日目は、主に移動だけでしたが、天気が良かったこともあり飛行機から見えた景色はとても綺麗なものだと思いました。また、ホテルから見た、瀬戸内の海からでてる日の出はとても綺麗に目に映りました。

二日目は、フェリーに乗り宮島へ行きました。厳島神社の敷地内はとても広く、宗像三女神を祀っていることや、そこからさまざまな御利益があることを知ることができました。ま



た、他にも五重塔などの歴史的な建物を見られて良かったです。その後、電車に乗り原爆ドームを見に行きました。被爆者講話では、当時の状況や原爆の被害についてさまざまに語っていただき、被害の大きさや悲惨さを知ることができました。一時間ぐらいの講話でしたが、大変貴重な時間を過ごすことができたと思います。

三日目は自主研修で、伏見稲荷大社と八坂神社に行きました。伏見稲荷では多くの観光客がいましたが、楽しく過ごせました。小さい鳥居に自分の名前を入れて飾ることができるサービスがあり、それが特に印象に残っています。八坂神社やその周辺では、抹茶パフェを食べたり、八坂さんに

お参りをしたりしました。京都の歴史的な町の雰囲気を実感できて良かったです。四日目はユニバーサルスタジオジャパンに行きました。最も恐ろしいフライングダイナソー（足がぶらぶらするジェットコースター）に乗り、楽しかったのですが、とんでもなく怖かったです。最終日は、なんばグ

1年

宿泊研修

一年一組 岩崎 仁

みなさま、山に登ったことはありますか。僕は今年の宿泊研修で十勝岳に登りました。僕は初めての山登りで、落下や転倒などの心配があつて不安でしたが、歩くのが好きな僕は、心の中に大きな不安と少しの期待を持って、青年の家を出発したのを覚えています。

出発してから約二十分ほどバスにゆられて十勝岳に到着しました。その間に僕の不安は期待より小さくなっていました。歩いたり、出かけるのが好きな僕は、雄大な十勝岳をいざ目の前にすると、少しの不安は消し飛び、期待と興奮に満ち

ランド花月に行きました。特に吉本新喜劇では、腹がよじれるほど笑いました。見学旅行で学んだことを、これからの学校生活で活かしていきたいです。また、もうすぐ受験生になるので、勉強や進路に、積極的に今後の学校生活を送っていききたいです。

溢れていました。

そんな期待と興奮を胸に、先生の出発の合図と共に、歩き出しました。登つてすぐの所にあつた十勝岳の看板で記念写真を撮り、皆自らのペースで進んでいました。その日の天候はとても恵まれて、晴天でした。その中でなにも考えず、自分のペースで歩くのはとても気持ちの良いもの



でした。気づけば、自分のペースは気持ちの高揚と共に早まっていた。ペースが上がっているのは自分でも分かっていた。ただその時は体力が無限に増えたかと思うぐらい、足が軽かったです。そんなウキウキな気分です。約四時間ついに頂上につくことができました。頂上からの景色は、本当にきれいでした。雲一つない青い空、あざやかな緑、山から出る煙。どれも初めて見る素晴らしい景色でした。今回、初めての登山で最初は不安もありました。ただそんな不安はすぐに興奮に変わり気がつけば、人生で一番とも言えるような景色に出会えました。現代に生きる私達は、家でだらだらしたり、車などに頼る事が多いと思います。だからこそなにも考えず、自分のペースで登れる山はとてもオススメできます。ぜひ登ってほしいです。

一年二組 三浦 凌葵

宿泊研修の一日目は、カタリバや登山の注意事項の説明、レクリエーションを行いました。カタリバでは道内の大学生の方々が来て

くれて、将来について考える時間を提供してくれました。先輩方には様々な体験談から、今の私と同じ状況だった人がいて、どうすればよいのか聞かせてもらえました。レクリエーションでは、玉入れと大縄跳びをやったのですが、とりあえず先生の気合いが凄かったです。楽しかったのですが、先生の気合いが暑苦しかったです。

二日目は、十勝岳を登りました。私は、写真の腕を上げたく、カメラを持っていた。山に生えている花や植物、風景は言葉では表せないほど綺麗に撮ることができました。

三日目はラブニールでパンを作りました。作業工程は簡単で楽しかったのですが、意外と疲れました。で





私達写真部は高文連上川支部写真展にて奨励賞をいただくことができ、全道大会へ行くことができました。舞台は室蘭で行われ、四日間写真とともに過しました。初めてのことで嬉しくもあり悔しくもありました。期間はたくさんあった。まだいいのが撮れたんじゃないか。まだ上へ目指せたんじゃなか。後からどんな悔しさがこみ上げて

全道大会を終えて

一年二組 三浦 凌葵

すが、自分で作ったパンはとても美味しかったです。この三日間で学べたことは、仲間の大切さです。一学期は一人で過ごすことが多かったので、宿泊研修でほかのクラスの人と仲良く

なったりと、学校が楽しくなりました。こんな楽しい時間もあるという間に過ぎていくのだと思います。だからこそ、残りの高校生活を思う存分楽しもうと思います。

きました。それでも前向きに全道へ向いました。私は初めて他校の写真に会いました。何人か中学の人が入っているのは知っていたけどそれ以上に、ここにいる人たちが全員が写真に関わっているんだと、感動をおぼえました。この人達からどれくらい技術が学べるんだろう、どんな写真で撮るのかな、そんな気持ちで一杯でした。実際、色々なことが学べました。光の使い方、視点など、今後の活動に活かしていけそうなことばかりでした。講演して下さった笹森様からも多くのことを学べました。私にとってこの四日間は怒涛の四日間でした。色々と見せつけられながら色々と学び、教わり、目紛しく



今回の全道大会において、私は体調不良により参加することができなかったのですが、今までの成果を踏まえて全道大会に出場することができましたので、いままでの活動も振り返りながら、参加した部員から聞いた話を元に、全道大会の風景を代筆したいと思います。

私たち美術部は部員四名と顧問である相馬先生で

全道大会を終えて

二年二組 久保田竜乃介

時は過ぎていきました。それでも、いい経験になり、体験になり、とても有意義なものでした。まだ私には二回チャンスは残っています。この二回

のうち、一回でも全国へ行けたら、と思います。そのために少しでも写真を撮りたいと思います。

日々活動しています。もともと絵を描くことが好きだったので、深みのある絵を描いたりすることはしていませんでした。ただ、部活動をおして、専門的な知識と技術を身に付けることができました。また、相馬先生の熱心な指導のおかげで、地区大会を良い結果で通過することができました。加藤さんにいたっては、丸太を加工し作品を作ることで斬新な作風から、みごとに入選を果たしたことで自信になったのではな

いかと思います。

伊達市で行われた全道大会には、まずはじめに、美術館で今後の勉強のため、造型や絵画などの鑑賞をしました。芸術の歴史や、作品がどのようにして作られたのか、作品の個性や発想



の素晴らしいさに驚かされました。全道大会での会場では、人の多さと、どの作品もレベルが高く上手であることが良い刺激となりました。特に、リアルに作られた椅子は、実際に使用できるだけでなく芸術作品としても高いレベルにあることが見てわかりました。またその作品を見て、どのような過程で作られているのか、自分たちだったらどのように作り上げるかなど考えながら鑑賞することで、より深く作品に触れることができました。

全道大会をおして、こんな発想があるのかという驚きや、作品から学べることもたくさんあって、とても貴重な経験をする事ができました。土産話で聞いた話でも学ぶことができた

ことがたくさんあったので、ぜひ今後もチャンスがあれば参加したいと思っています。学んだことを活かして、次の大会に向けて技術を磨き、さらに良い作品を描けるように努力していきたいと思っています。



高文連放送コンテストに

出場して

二年二組 加藤 優佳

十一月二十一日〜二十二日の二日間、帯広市で行われました、第四十二回北海道高文連放送コンテストに出場してきました。実を言くと、去年も江別市で行われた全道大会には参加しましたが、今年は去年とは勝手の違う事も多く、思い出深い大会になりました。

今年は十月の上川地区大会の一ヶ月前に顧問の盛本先生が入院してしまい、他の先生方にご協力いただいたり地区大会を何とかギリギリ

突破したので、全道大会では何とか二十位以内に入り、来年の夏のNHKコンテストに繋げることを目標に、短い期間に必死で練習しました。去年は青い池のことについての話題を話してきたのですが、今年は九月一日に行われた美瑛駅開設一二〇周年記念行事の話題を取り上げて原稿を書き、話してきました。放送の大会アナウンス部門では、自分で用意した原

稿を制限時間以内にしっかりと読んで、話し方やマイクの使い方などを総合判定してもらったのですが、私は、タイムを計ったりマイクをきちんと使ったりするのが苦手で、見学旅行直前になってから学校に復帰したばかりの盛本先生と特訓をしました。家に帰ってから、苦手な滑舌練習や原稿の読み練習を何度もやって、音声データを聞いていただきました。

大会には、村上先生が引率して下さいました。音楽の授業の時と同じで、話しやすく、ぎこちない私をリラックスさせてくれました。そして全道大会の結果は、八十六人中四十四位に入りました。目標を下回る結果となりましたが自分のレベルを知ることができた年に向けて良い経験が積めました。

美瑛高校アナウンス部は小さいですが、有望な一年生もいます。これからしっかり準備して、来年こそは全国大会を目指したいと思います。

2学期各行事より

